

せんと たるい
泉京・垂井

「まちづくりに自ら参画し、行政、事業者・企業などと協働して、より“幸福度の高いまち・垂井”を実現する」ことを目的として岐阜県不破郡垂井町で2005年に発足しました。住民活動が、垂井の地に沸き続ける泉のように、こんこんと力強く展開されるように、また、歴史と文化・環境を大切に
する小京都を目指すとの意気込みから、名称を「泉京・垂井」と名付けられました。

現在は「住民が愛着を持って住み続けられるまち」を目指し、垂井町や揖斐川流域で活動をしています。川の流域にはかつて自然資源を活かした持続可能な循環型社会がありました。それは経済最優先で収奪構

造ではない、豊かな社会でした。このような流域に学びながら流域単位で地域づくりを行っています。また、地域だけにとらわれず、世界の課題と結び付けながら活動をするのが当団体の特徴です。具体的には、フェアトレードと地産地消の啓発イベント「フェア

トレードデイ垂井」や、街中でフェアトレードを応援する「フェアトレードタウン垂井」を目指した活動、アドボカシーの実践者を育成する「あどぼの学校」、揖斐川流域をフィールドに地域づくりを学ぶ研修の受け入れ、まちのゴミ減量などです。このようなことを実施しながら住民が主体的関わる持続可能な地域をめざしています。



第9回フェアトレードデイ垂井

(河合良太)